



お お とり
大 鴻

令和4年 6月1日
文責：校長 御手洗 宏昭

質の高い授業を共に創っていこう！「学びを紡ぐ5つの約束」

佐々木 萌果さん（学習委員長）に聞く

5月27日(金)の昼休みに、学習委員長の佐々木 萌果さんから、学習委員会が作成した「**学びを紡ぐ5つの約束**」について説明を受けました。

この「**学びを紡ぐ5つの約束**」は、附属中学校の授業の在り方として、学習者と授業者で共に質の高い授業を創っていきたいという願いを込めて学習委員会が作成したものです。



学習委員長 佐々木 萌果さん(3-A)

学びを紡ぐ5つの約束

- 1 学習者としての心構え、あたりまえをつくろう
- 2 環境を整え、授業の雰囲気は自分たちの手でつくろう
- 3 「問い」を大事にする学ぶ集団になろう
- 4 ICTをよりよく使いこなす人になろう
- 5 次につなげるためにふりかえろう



同じ誕生日、42歳の差対談

佐々木さんとの対談（一部）

御手洗：学習者（生徒）一人ひとりがこのような想いを持って授業に主体的に取り組む姿勢が身に付くことで、ますます素晴らしい附中生になる。ICTの活用について、学校教育目標との関連するところはどこだと思う？

佐々木：自主・自立。（即答）

御手洗：自分たちで使うという意識。自分自身が責任を持って使う。私たちも、学習者に任せるといことが望ましい姿。学校教育目標の姿につながっている。

御手洗：授業は楽しい？

佐々木：楽しい授業もあるが…。普通の授業も…。

御手洗：学習者の皆さんから、授業者（教師）へこうして欲しいとか望むことは？

佐々木：授業者へは、豆知識とか学習者が知らない様な興味や関心がわくような内容を授業の中で取り入れて欲しい。

御手洗：学習者は、学習委員会が作成したこの約束を意識して授業に臨む。授業者である私たちはこのことを、しっかり意識して授業に臨むよう、私から先生方に伝える。

対談を終えての想い



コロナ禍で、学校行事等にいろいろな制限がなされる中、**やむなく教師主導**で進めてきたこの3年間。私たちは、**生徒たちが考え、生徒たちが自ら行動するための方策を、今一度考えていかなければならない**と感じた時間でした。

附属中学校全校の生徒が、「附中生で良かった」「**附中で学習出来て良かった**」と日々思えるよう、**生徒と共に質の高い授業を創っていきましょ**う。